



VS-R262B 用 FB ライブラリ リファレンスマニュアル

エヌエスディ株式会社



《目次》

改訂履歴	3
1. FB ライブラリのご利用について	4
2. 概要	5
2-1. FB ライブラリ概要	5
2-2. FB ライブラリ機能内容	5
2-3. システム構成例	6
2-4. グローバルラベルについて	7
2-5. 関連マニュアル	7
2-6. お願い	8
3. FB ライブラリ詳細	9
3-1. P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R(オンライン設定)	9
3-2. P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R(現在値取得)	13
3-3. P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R(現在値設定)	17
3-4. P+NSD-VS-R262B_OperateError_R(エラー操作)	23
付録 1. 接続手順	29
付 1-1. 安全上のご注意	29
付 1-2. 接続手順フロー	31
付 1-3. 接続、配線説明	32
付 1-4. 機器設定説明	32
付 1-5. 接続確認方法	35
付録 2. FB ライブラリ使用例	36
付 2-1. P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R(オンライン設定)	36
付 2-2. P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R(現在値取得)	37
付 2-3. P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R(現在値設定)	38
付 2-4. P+NSD-VS-R262B_OperateError_R(エラー操作)	39



改訂履歴

番号	改訂日	改訂内容
ZEF005542600	2019. 5.10	新規作成



1. FB ライブラリのご利用について

FB ライブラリのデータ、リファレンスマニュアルなどのファイルは、以下の各項に同意の上で、ご利用いただくものとしてします。

1. 当社が提供するファイルの知的財産権は、当社に帰属するものとします。
2. 当社が提供するファイルやそのファイルから抽出されるデータは、当社製品の仕様を保証するものではありません。あらかじめご了承ください。
3. 本 FB ライブラリは、いかなる場合においても、お客様のシステム全体の動作を保証するものではありません。
4. 本 FB ライブラリは、お客様の責任において、ご利用ください。
5. 本 FB ライブラリは、お客様の責任において改造をおこない利用することは可能ですが、お客様の責任においておこなってください。
6. 本 FB ライブラリを改造する場合のお問合せに関しては、対応いたしかねますので、ご了承ください。
7. 本 FB ライブラリの使用に付随または関連して生じる直接的な、または間接的な損失、損傷等について、いかなる場合においても一切の責任を負いません。
8. 本 FB ライブラリについて第三者からなされるいかなる権利主張に対しても一切の責任を負いません。
9. 改良のため、本 FB ライブラリおよびリファレンスマニュアルの内容を予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
10. 当社が提供するファイルのご利用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルおよび本リファレンスマニュアルで紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って正しい取扱いをしてください。



2. 概要

2-1. FB ライブラリ概要

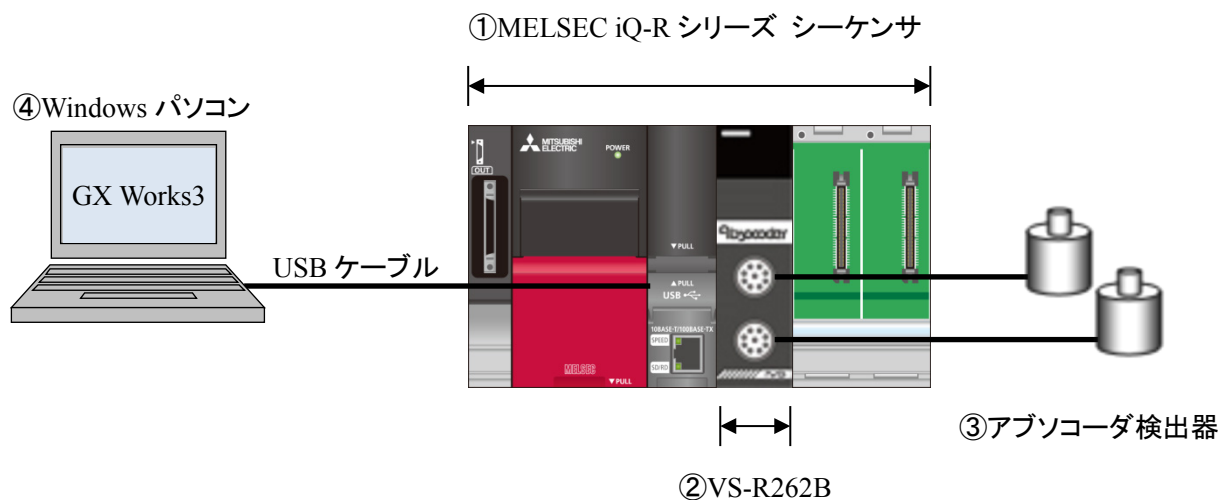
本FBライブラリはVS-R262Bシリーズのユニット(以下、VS-R262Bと略します)を簡単に使用するためのFBです。

2-2. FB ライブラリ機能内容

名称	内容
P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R	VS-R262B の動作状態をオンラインに切り替えます。
P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R	現在値を取得します。
P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R	現在値を設定します。
P+NSD-VS-R262B_OperateError_R	VS-R262B のエラーコードを読み出します。 また、VS-R262B のエラーをリセットします。



2-3. システム構成例



No.	機器名	説明
①	MELSEC iQ-R シリーズ シーケンサ	ベースユニットと電源ユニット、CPU ユニットを使用します。
②	VS-R262B	アブソコーダ検出器と組み合わせて機械位置を検出します。 以下のいずれかのユニットを使用します。 ・VS-R262B-MP ・VS-R262B-VP ・VS-R262BH-M2R ・VS-R262BH-V1R ・VS-R262BH-LC ・VS-R262BH-L8
③	アブソコーダ検出器	VS-R262B と組み合わせて機械位置を検出します。 使用可能なアブソコーダ検出器については、VS-R262B のユーザーズマニュアルを参照してください。
④	Windows パソコン	GX Works3 を使用し、各種設定をおこないます。



2-4. グローバルラベルについて

本 FB ライブラリを使用する際には、GX Works3 のグローバルラベルエディタで以下のラベルを登録してください。

ラベル名	データ型	クラス	割付け	日本語コメント (英語コメント)
G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9	ユニットレディ (Unit ready)
G_bOnline	ビット	VAR_GLOBAL	X1Z9	オンライン (Online)
G_bPLCReady	ビット	VAR_GLOBAL	Y10Z9	シーケンサレディ (PLC ready)
G_bAxis1CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y13Z9	1 軸 現在値設定指令 (Axis-1 current position setting command)
G_bAxis2CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y16Z9	2 軸 現在値設定指令 (Axis-2 current position setting command)
G_bErrReset	ビット	VAR_GLOBAL	Y1CZ9	エラーリセット (Error reset)

グローバルラベルエディタの開き方:

"ナビゲーション"ウィンドウ⇒"ラベル"⇒"グローバルラベル"⇒(データ名)

例:

ラベル名	データ型	クラス	割付け(デバイス/ラベル)	初期値	定数	コメント	Japanese/日本語(表示対象)	English
1 G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9				ユニットレディ	Unit ready
2 G_bOnline	ビット	VAR_GLOBAL	X1Z9				オンライン	Online
3 G_bPLCReady	ビット	VAR_GLOBAL	Y10Z9				シーケンサレディ	PLC ready
4 G_bAxis1CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y13Z9				1軸 現在値設定指令	Axis-1 current position setting command
5 G_bAxis2CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y16Z9				2軸 現在値設定指令	Axis-2 current position setting command
6 G_bErrReset	ビット	VAR_GLOBAL	Y1CZ9				エラーリセット	Error reset

2-5. 関連マニュアル

- ・MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアル
- ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザズマニュアル(スタートアップ編)
- ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザズマニュアル(応用編)
- ・VS-R262B-MP ユーザーズマニュアル
- ・VS-R262B-VP ユーザーズマニュアル
- ・VS-R262BH-M2R ユーザーズマニュアル
- ・VS-R262BH-V1R ユーザーズマニュアル
- ・VS-R262BH-LC ユーザーズマニュアル
- ・VS-R262BH-L8 ユーザーズマニュアル
- ・GX Works3 オペレーティングマニュアル



2-6. お願い

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



3. FB ライブラリ詳細

3-1. P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R(オンライン設定)

名称

P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R

概要

項目	内容
機能概要	VS-R262B の動作状態をオンラインに切り替えます。
シンボル	<div><div><div>P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R</div><div><div>実行指令</div><div>B : i_bEN</div><div>先頭 I/O No.</div><div>UW : i_uStartIONo</div></div><div><div>o_bENO : B</div><div>o_bOK : B</div><div>o_bErr : B</div><div>o_uErrID : UW</div></div><div><div>実行状態</div><div>正常完了</div><div>異常完了</div><div>エラーコード</div></div></div></div>

使用ラベル

■入カラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FB を実行します。 OFF: FB を実行しません。
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	ワード [符号なし]	CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 「付 1-4. 機器設定説明」の「ユニット構成図の作成」、手順⑤を参照してください。

■出カラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB を実行しています。 OFF: FB を実行していません。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	FB が正常完了すると ON します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	FB が異常完了すると ON します。
エラーコード	o_uErrID	ワード [符号なし]	H0	FB が異常完了するとエラーコードが格納されます。



■グローバルラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	クラス	割付け
ユニットレディ	G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9
オンライン	G_bOnline	ビット	VAR_GLOBAL	X1Z9
シーケンサレディ	G_bPLCReady	ビット	VAR_GLOBAL	Y10Z9

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	VS-R262B-MP, VS-R262B-VP, VS-R262BH-M2R, VS-R262BH-V1R, VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8
	対象 CPU	MELSEC iQ-R シリーズ
	対象エンジニアリングツール	GX Works3 Version 1.052E 以降
使用言語	ラダー	
ステップ数	76Step ※プログラムに組み込んだFBのステップ数は、使用するCPUユニット、入出力の定義やGX Works3のオプション設定によって異なります。GX Works3のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
インデックスレジスタ	使用点数: 1 点 使用デバイス番号(Z9) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行指令)の立ち上がりで VS-R262B の動作状態をオンラインにします。 ・i_bEN(実行指令)の立ち下がりで VS-R262B の動作状態をオフラインにします。 ・VS-R262B のユニットレディがONしていない場合は o_bErr(異常完了)がONし、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。 	
FB コンパイル方式	マクロ型	
FB 動作	パルス実行型(複数スキャン実行型)	



項目	内容
入出力信号の動き	<p>【正常完了の場合】</p> <p> i_bEN(実行指令) OFF → ON o_bENO(実行状態) OFF → ON シーケンサレディ信号 OFF → ON 動作状態 オフライン → オンライン o_bOK(正常完了) OFF → ON o_bErr(異常完了) OFF o_uErrID(エラーコード) H0 </p> <p>【異常完了の場合】</p> <p> i_bEN(実行指令) OFF → ON o_bENO(実行状態) OFF → ON シーケンサレディ信号 OFF 動作状態 オフライン o_bOK(正常完了) OFF o_bErr(異常完了) OFF → ON o_uErrID(エラーコード) H0 → エラーコード → H0 </p>
使用例	「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご参照ください。

項目	内容
制約事項・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ・1 回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラムや FOR～NEXT など)で FB を使用すると i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ・本 FB を複数使用する場合、先頭 I/O No. が重複しないように注意してください。 ・本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。 ・本 FB は前回実行情報を参照する命令を使用するので、割り込みプログラム、FOR-NEXT のループ内、サブルーチンでは使用できません。 ・FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて Y 信号を操作している関係上、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。
関連マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアル ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザズマニュアル(スタートアップ編) ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザズマニュアル(応用編) ・VS-R262B-MP ユーザーズマニュアル ・VS-R262B-VP ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-M2R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-V1R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-LC ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-L8 ユーザーズマニュアル ・GX Works3 オペレーティングマニュアル

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
H200	VS-R262B のユニットレディが ON していません。	<p>i_uStartIOno(先頭 I/O No.)が正しいことを確認してください。</p> <p>i_uStartIOno(先頭 I/O No.)が正しい場合は VS-R262B のハードウェア異常です。最寄りのエヌエスディ営業所または代理店にご相談ください。</p>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2019. 3.20	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



3-2. P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R(現在値取得)

名称

P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R

概要

項目	内容																							
機能概要	現在値を取得します。																							
シンボル	<div><div>P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R</div><table><tr><td>実行指令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭 I/O No.</td><td>UW : i_uStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>軸</td><td>UW : i_uAxis</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>現在値の種類</td><td>UW : i_uType</td><td>o_uErrID : UW</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_udCurrentPositionValue : UD</td><td>現在値</td></tr></table></div>				実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了	軸	UW : i_uAxis	o_bErr : B	異常完了	現在値の種類	UW : i_uType	o_uErrID : UW	エラーコード			o_udCurrentPositionValue : UD	現在値
実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																					
先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了																					
軸	UW : i_uAxis	o_bErr : B	異常完了																					
現在値の種類	UW : i_uType	o_uErrID : UW	エラーコード																					
		o_udCurrentPositionValue : UD	現在値																					

使用ラベル

■ 入カラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FB を実行します。 OFF: FB を実行しません。
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	ワード [符号なし]	CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 「付 1-4. 機器設定説明」の「ユニット構成図の作成」、手順⑤を参照してください。
軸	i_uAxis	ワード [符号なし]	1: 1 軸 2: 2 軸	現在値を読み出す軸を指定します。
現在値の種類	i_uType	ワード [符号なし]	1: センサ値 2: CW 増加現在値 3: CCW 増加現在値	読み出す現在値の種類を指定します。



■出力ラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB を実行しています。 OFF: FB を実行していません。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	FB が正常完了すると ON します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	FB が異常完了すると ON します。
エラーコード	o_uErrID	ワード [符号なし]	H0	FB が異常完了するとエラーコードが格納されます。
現在値	o_udCurrentPositionValue	ダブルワード [符号なし]	0	現在値が格納されます。

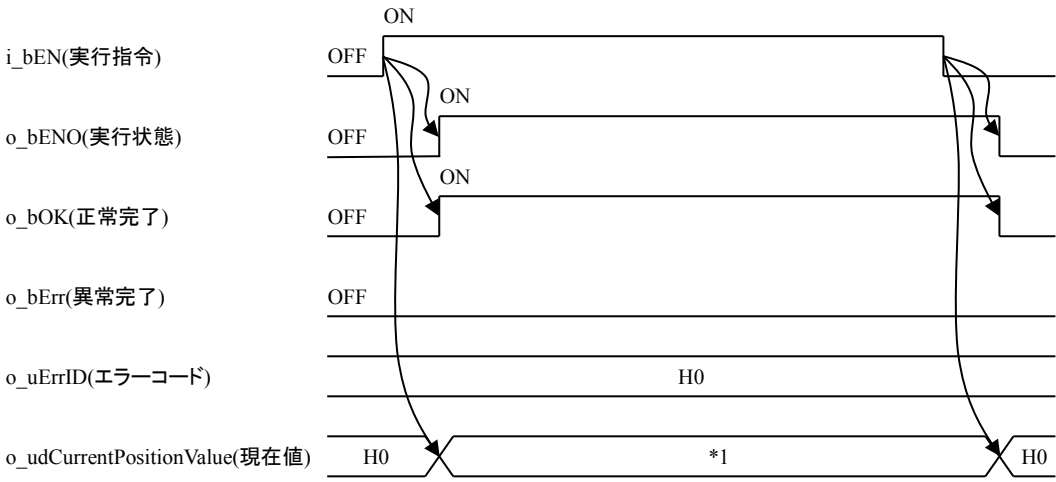
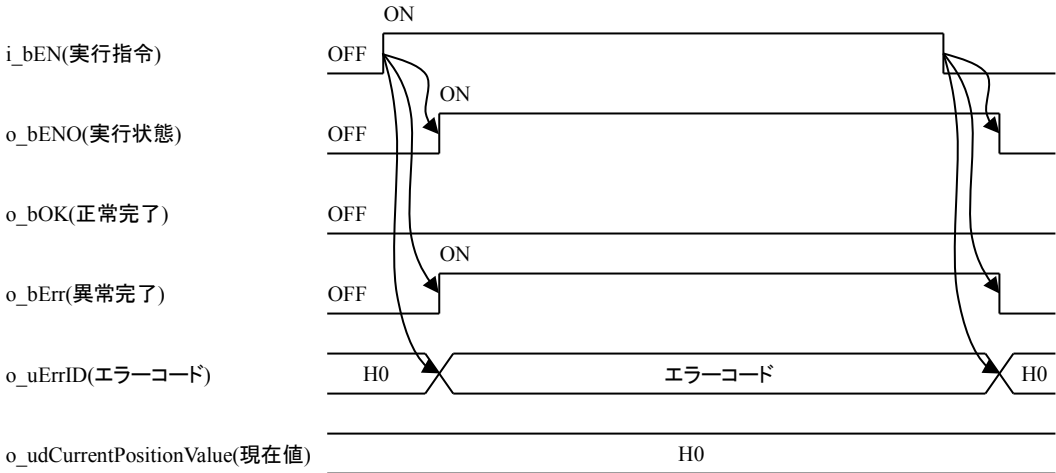
■グローバルラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	クラス	割付け
ユニットレディ	G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	VS-R262B-MP, VS-R262B-VP, VS-R262BH-M2R, VS-R262BH-V1R, VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8
	対象 CPU	MELSEC iQ-R シリーズ
	対象エンジニアリングツール	GX Works3 Version 1.052E 以降
使用言語	ラダー	
ステップ数	157Step ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
インデックスレジスタ	使用点数: 1 点 使用デバイス番号(Z9) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。	
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_uAxis(軸)と i_uType(現在値の種類)で指定した現在値が o_udCurrentPositionValue(現在値)に格納されます。 ・i_uAxis(軸)または i_uType(現在値の種類)が有効範囲外の場合は o_bErr(異常完了)が ON し、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。 ・VS-R262B のユニットレディが ON していない場合は o_bErr(異常完了)が ON し、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。 	
FB コンパイル方式	マクロ型	
FB 動作	随時実行型	



項目	内容
入出力信号の動き	<p>【正常完了の場合】</p>  <p>*1 アブソコダ検出器の位置に応じた値</p> <p>【異常完了の場合】</p> 
使用例	「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご参照ください。
制約事項・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ・1 回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラムや FOR～NEXT など)で FB を使用すると i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ・本 FB では、全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。 ・本 FB を割込みプログラムで使用する場合には、他の FB と同一インスタンス指定しないでください。 ・同期センサ値、同期 CW 増加現在値、同期 CCW 増加現在値の読み出しには対応していません。

項目	内容
関連マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアル ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(スタートアップ編) ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(応用編) ・VS-R262B-MP ユーザーズマニュアル ・VS-R262B-VP ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-M2R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-V1R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-LC ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-L8 ユーザーズマニュアル ・GX Works3 オペレーティングマニュアル

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
H100	i_uAxis(軸)が有効範囲外です。	i_uAxis(軸)に有効範囲内の値を指定してください。
H101	i_uType(現在値の種類)が有効範囲外です。	i_uType(現在値の種類)に有効範囲内の値を指定してください。
H200	VS-R262B のユニットレディが ON していません。	<p>i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しいことを確認してください。</p> <p>i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しい場合は VS-R262B のハードウェア異常です。最寄りのエヌエスディ営業所または代理店にご相談ください。</p>

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2019. 3.20	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



3-3. P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R(現在値設定)

名称

P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R

概要

項目	内容																			
機能概要	現在値を設定します。																			
シンボル	<div><div>P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R</div><table><tr><td>実行指令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭 I/O No.</td><td>UW : i_uStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>軸</td><td>UW : i_uAxis</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td>現在値設定値</td><td>UD : i_udCurrentPositionSettingValue</td><td>o_uErrID : UW</td><td>エラーコード</td></tr></table></div>				実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了	軸	UW : i_uAxis	o_bErr : B	異常完了	現在値設定値	UD : i_udCurrentPositionSettingValue	o_uErrID : UW	エラーコード
実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																	
先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了																	
軸	UW : i_uAxis	o_bErr : B	異常完了																	
現在値設定値	UD : i_udCurrentPositionSettingValue	o_uErrID : UW	エラーコード																	

使用ラベル

■ 入力ラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FB を実行します。 OFF: FB を実行しません。
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	ワード [符号なし]	CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 「付 1-4. 機器設定説明」の「ユニット構成図の作成」、手順⑤を参照してください。
軸	i_uAxis	ワード [符号なし]	1: 1 軸 2: 2 軸	現在値を設定する軸を指定します。
現在値設定値	i_udCurrentPositionSettingValue	ダブルワード [符号なし]	ユニットの形式によって異なります。*1	現在の機械位置に相当する値を指定します。

*1 現在値設定値の有効範囲

ユニットの形式	有効範囲
VS-R262B-MP, VS-R262BH-M2R	0～131071(H0～H1FFFF)
VS-R262B-VP, VS-R262BH-V1R	0～8191(H0～H1FFF)
VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8	0～16777215(H0～HFFFFFFF)



■出力ラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB を実行しています。 OFF: FB を実行していません。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	FB が正常完了すると ON します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	FB が異常完了すると ON します。
エラーコード	o_uErrID	ワード [符号なし]	H0	FB が異常完了するとエラーコードが格納されます。

■グローバルラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	クラス	割付け
ユニットレディ	G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9
オンライン	G_bOnline	ビット	VAR_GLOBAL	X1Z9
1 軸 現在値設定指令	G_bAxis1CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y13Z9
2 軸 現在値設定指令	G_bAxis2CurrentPositionSettingCommand	ビット	VAR_GLOBAL	Y16Z9

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	VS-R262B-MP, VS-R262B-VP, VS-R262BH-M2R, VS-R262BH-V1R, VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8
	対象 CPU	MELSEC iQ-R シリーズ
	対象エンジニアリングツール	GX Works3 Version 1.052E 以降
使用言語	ラダー	
ステップ数	210Step ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
インデックスレジスタ	使用点数: 1 点 使用デバイス番号(Z9) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。	



項目	内容
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・i_bEN(実行指令)の立ち上がりで現在値を設定します。 i_uAxis(軸)で指定した軸の CW 増加現在値と CCW 増加現在値が i_udCurrentPositionSettingValue(現在値設定値)で指定した値に変更されます。 ・i_uAxis(軸)が有効範囲外の場合は o_bErr(異常完了)が ON し、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。 ・以下の場合は o_bErr(異常完了)が ON し、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。 <ul style="list-style-type: none"> ーi_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B のユニットレディが ON していなかった場合 ーi_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B にセンサエラーが発生していた場合 ーi_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B にセンサデータエラーが発生していた場合 ーi_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B がオフラインだった場合 ーi_bEN(実行指令)の立ち上がり時、現在値設定が禁止されていた場合
FB コンパイル方式	マクロ型
FB 動作	パルス実行型(1 スキャン実行型)



項目	内容
入出力信号の動き	<p>【正常完了の場合】</p> <p> <i>i_bEN</i>(実行指令) OFF ON OFF <i>o_bENO</i>(実行状態) OFF ON OFF <i>o_bOK</i>(正常完了) OFF ON OFF <i>o_bErr</i>(異常完了) OFF <i>o_uErrID</i>(エラーコード) H0 現在値設定指令 OFF ON OFF CW 増加現在値 *1 現在値設定値 *1 CCW 増加現在値 *1 現在値設定値 *1 </p> <p>*1 アブソコーダ検出器の位置に応じた値</p> <p>【異常完了の場合】</p> <p> <i>i_bEN</i>(実行指令) OFF ON OFF <i>o_bENO</i>(実行状態) OFF ON OFF <i>o_bOK</i>(正常完了) OFF <i>o_bErr</i>(異常完了) OFF ON OFF <i>o_uErrID</i>(エラーコード) H0 エラーコード H0 現在値設定指令 OFF CW 増加現在値 *1 CCW 増加現在値 *1 </p> <p>*1 アブソコーダ検出器の位置に応じた値</p>
使用例	「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご参照ください。

項目	内容
制約事項・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ・1 回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラムや FOR～NEXT など)で FB を使用すると i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ・本 FB を複数使用する場合、先頭 I/O No.と軸の組み合わせが重複しないように注意してください。 ・本 FB では、全ての入力ラベルにおいて回路の設定が必要です。 ・本 FB は前回実行情報を参照する命令を使用するので、割込みプログラム、FOR-NEXT のループ内、サブルーチンでは使用できません。 ・FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて Y 信号を操作している関係上、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題はありません。 ・i_udCurrentPositionSettingValue(現在値設定値)が有効範囲外の場合は、VS-R262B にエラーが発生します。 ・現在値が変更されたことを確認してから、i_bEN(実行指令)を OFF してください。 ・現在値設定を繰り返し実行する場合、i_bEN(実行指令)を 100ms 以上 OFF する必要があります。
関連マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアル ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(スタートアップ編) ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(応用編) ・VS-R262B-MP ユーザーズマニュアル ・VS-R262B-VP ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-M2R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-V1R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-LC ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-L8 ユーザーズマニュアル ・GX Works3 オペレーティングマニュアル



エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
H100	i_uAxis(軸)が有効範囲外です。	i_uAxis(軸)に有効範囲内の値を指定してください。
H200	i_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B のユニットレディが ON していませんでした。	i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しいことを確認してください。 i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しい場合は VS-R262B のハードウェア異常です。最寄りのエヌエスディ営業所または代理店にご相談ください。
H201	i_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B にセンサエラーが発生していました。	VS-R262B のユーザズマニュアルを参照し、エラーの原因を取り除いてください。 その後、エラーをリセットしてください。
H202	i_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B にセンサデータエラーが発生していました。	VS-R262B のユーザズマニュアルを参照し、エラーの原因を取り除いてください。 その後、エラーをリセットしてください。
H203	i_bEN(実行指令)の立ち上がり時、VS-R262B がオフラインでした。	VS-R262B をオンラインにしてください。
H204	i_bEN(実行指令)の立ち上がり時、現在値設定が禁止されていました。	VS-R262B のユーザズマニュアルを参照し、現在値設定を許可してください。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2019. 3.20	新規作成

お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。

ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



3-4. P+NSD-VS-R262B_OperateError_R(エラー操作)

名称

P+NSD-VS-R262B_OperateError_R

概要

項目	内容																											
機能概要	VS-R262B のエラーコードを読み出します。 また、VS-R262B のエラーをリセットします。																											
シンボル	<div><div>P+NSD-VS-R262B_OperateError_R</div><table><tr><td>実行指令</td><td>B : i_bEN</td><td>o_bENO : B</td><td>実行状態</td></tr><tr><td>先頭 I/O No.</td><td>UW : i_uStartIONo</td><td>o_bOK : B</td><td>正常完了</td></tr><tr><td>エラーリセット</td><td>B : i_bErrReset</td><td>o_bErr : B</td><td>異常完了</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_uErrID : UW</td><td>エラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_uAxis1ModuleErrID : UW</td><td>1 軸 ユニットエラーコード</td></tr><tr><td></td><td></td><td>o_uAxis2ModuleErrID : UW</td><td>2 軸 ユニットエラーコード</td></tr></table></div>				実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態	先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了	エラーリセット	B : i_bErrReset	o_bErr : B	異常完了			o_uErrID : UW	エラーコード			o_uAxis1ModuleErrID : UW	1 軸 ユニットエラーコード			o_uAxis2ModuleErrID : UW	2 軸 ユニットエラーコード
実行指令	B : i_bEN	o_bENO : B	実行状態																									
先頭 I/O No.	UW : i_uStartIONo	o_bOK : B	正常完了																									
エラーリセット	B : i_bErrReset	o_bErr : B	異常完了																									
		o_uErrID : UW	エラーコード																									
		o_uAxis1ModuleErrID : UW	1 軸 ユニットエラーコード																									
		o_uAxis2ModuleErrID : UW	2 軸 ユニットエラーコード																									

使用ラベル

■ 入カラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	有効範囲	説明
実行指令	i_bEN	ビット	ON, OFF	ON: FB を実行します。 OFF: FB を実行しません。
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	ワード [符号なし]	CPU ユニットの入出力点数により決まります。CPU ユニットのユーザーズマニュアルを参照してください。	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 「付 1-4. 機器設定説明」の「ユニット構成図の作成」、手順⑤を参照してください。
エラーリセット	i_bErrReset	ビット	ON, OFF	立ち上がりで VS-R262B のエラーをリセットします。



■出力ラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	初期値	説明
実行状態	o_bENO	ビット	OFF	ON: FB を実行しています。 OFF: FB を実行していません。
正常完了	o_bOK	ビット	OFF	FB が正常完了すると ON します。
異常完了	o_bErr	ビット	OFF	FB が異常完了すると ON します。
エラーコード	o_uErrID	ワード [符号なし]	H0	FB が異常完了するとエラーコードが格納されます。
1 軸 ユニットエラーコード	o_uAxis1ModuleErrID	ワード [符号なし]	H0	VS-R262B の 1 軸にエラーが発生した場合に VS-R262B のエラーコードが格納されます。 VS-R262B のユーザーズマニュアルを参照してください。
2 軸 ユニットエラーコード	o_uAxis2ModuleErrID	ワード [符号なし]	H0	VS-R262B の 2 軸にエラーが発生した場合に VS-R262B のエラーコードが格納されます。 VS-R262B のユーザーズマニュアルを参照してください。

■グローバルラベル

ラベル名称	ラベル	データ型	クラス	割付け
ユニットレディ	G_bUnitReady	ビット	VAR_GLOBAL	X0Z9
エラーリセット	G_bErrReset	ビット	VAR_GLOBAL	Y1CZ9

機能内容

項目	内容	
対象機器	対象ユニット	VS-R262B-MP, VS-R262B-VP, VS-R262BH-M2R, VS-R262BH-V1R, VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8
	対象 CPU	MELSEC iQ-R シリーズ
	対象エンジニアリングツール	GX Works3 Version 1.052E 以降
使用言語	ラダー	
ステップ数	178Step ※プログラムに組み込んだ FB のステップ数は、使用する CPU ユニット、入出力の定義や GX Works3 のオプション設定によって異なります。GX Works3 のオプション設定については、GX Works3 オペレーティングマニュアルを参照してください。	
インデックスレジスタ	使用点数: 1 点 使用デバイス番号(Z9) ※割込みプログラムを使用する場合は、割込みプログラム内で該当インデックスレジスタを使用しないでください。	



項目	内容
機能説明	<ul style="list-style-type: none"> ・VS-R262B にエラーが発生した場合は o_bErr(異常完了)が ON し、以下の出力ラベルにエラーコードが格納されます。 <ul style="list-style-type: none"> －o_uErrID(エラーコード) －o_uAxis1ModuleErrID(1 軸 ユニットエラーコード) －o_uAxis2ModuleErrID(2 軸 ユニットエラーコード) ・i_bErrReset(エラーリセット)の立ち上がりで VS-R262B のエラーをリセットします。 ・VS-R262B のユニットレディが ON していない場合は o_bErr(異常完了)が ON し、o_uErrID(エラーコード)にエラーコードが格納されます。
FB コンパイル方式	マクロ型
FB 動作	随時実行型



項目	内容
入出力信号の動き	<p>【正常完了の場合】</p> <p> i_bEN(実行指令) OFF → ON i_bErrReset(エラーリセット) OFF エラーリセット信号 OFF o_bENO(実行状態) OFF → ON o_bOK(正常完了) OFF → ON o_bErr(異常完了) OFF o_uErrID(エラーコード) H0 o_uAxis1ModuleErrID (1 軸 ユニットエラーコード) H0 o_uAxis2ModuleErrID (2 軸 ユニットエラーコード) H0 </p>
	<p>【異常完了の場合】</p> <p> i_bEN(実行指令) OFF → ON i_bErrReset(エラーリセット) OFF → ON エラーリセット信号 OFF → ON o_bENO(実行状態) OFF → ON o_bOK(正常完了) OFF → ON o_bErr(異常完了) OFF → ON o_uErrID(エラーコード) H0 → H200 → H0 → HFFFF → H0 o_uAxis1ModuleErrID (1 軸 ユニットエラーコード) H0 → ユニットエラーコード → H0 o_uAxis2ModuleErrID (2 軸 ユニットエラーコード) H0 → ユニットエラーコード → H0 </p>
使用例	「付録 2. FB ライブラリ使用例」をご参照ください。

項目	内容
制約事項・注意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・本 FB は、エラー復旧処理は含んでいません。エラー復旧処理については、お客様のシステムや要求動作に合わせて、別途作成してください。 ・1 回しか実行されないプログラム(サブルーチンプログラムや FOR～NEXT など)で FB を使用すると i_bEN(実行指令)の OFF 処理を実行することができず正常な動作ができなくなるため、i_bEN(実行指令)の OFF を実行できるプログラムで使用してください。 ・本 FB を複数使用する場合、先頭 I/O No. が重複しないように注意してください。 ・本 FB では、全ての入カラベルにおいて回路の設定が必要です。 ・本 FB は前回実行情報を参照する命令を使用するので、割り込みプログラム、FOR-NEXT のループ内、サブルーチンでは使用できません。 ・FB 内部におきましてインデックス修飾を用いて Y 信号を操作している関係上、本 FB を複数個使用した場合、コンパイル時に 2 重コイルワーニングが発生することがありますが、使用上特に問題ははありません。 ・VS-R262B のエラーがリセットされたことを確認してから、i_bErrReset(エラーリセット)を OFF してください。 ・エラーリセットを繰り返し実行する場合、i_bEN(実行指令)をいったん OFF する必要があります。
関連マニュアル	<ul style="list-style-type: none"> ・MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアル ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(スタートアップ編) ・MELSEC iQ-R CPU ユニットユーザーズマニュアル(応用編) ・VS-R262B-MP ユーザーズマニュアル ・VS-R262B-VP ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-M2R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-V1R ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-LC ユーザーズマニュアル ・VS-R262BH-L8 ユーザーズマニュアル ・GX Works3 オペレーティングマニュアル

エラーコード

エラーコード	内容	処置方法
H200	VS-R262B のユニットレディが ON していません。	<p>i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しいことを確認してください。</p> <p>i_uStartIONo(先頭 I/O No.)が正しい場合は VS-R262B のハードウェア異常です。最寄りのエヌエスディ営業所または代理店にご相談ください。</p>
HFFFF	VS-R262B にエラーが発生しています。	VS-R262B のユーザーズマニュアルを参照してください。

FB のバージョンアップ履歴

バージョン	日付	内容
00A	2019. 3.20	新規作成



お願い

本章はファンクションブロックの機能を説明した資料です。

ユニットやシーケンサ CPU の使用上の制限事項、組み合わせによる制限事項などについては記載されていません。



ご使用にあたりましては、必ず対象製品のユーザーズマニュアルをお読みいただきますようお願い申し上げます。



付録1. 接続手順

付1-1. 安全上のご注意

本リファレンスマニュアルで紹介している製品の使用に際しては、「2-5. 関連マニュアル」で紹介している関連マニュアルをよくお読みいただくと共に、安全に対して十分に注意を払って、正しい取扱いをしていただくようお願いいたします。

この「安全上のご注意」では、安全注意事項のランクを「 警告」、「 注意」として区分してあります。




警告

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、 注意に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

【取付け上の注意事項】



警告

- ユニットの着脱は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してからおこなってください。全相遮断しないと、感電、ユニットの故障や誤動作の原因になります。



注意

- シーケンサは、MELSEC iQ-R ユニット構成マニュアルに記載の一般仕様の環境で使用してください。一般仕様の範囲以外の環境で使用する、感電、火災、誤動作、製品の損傷または劣化の原因になります。
- ユニットの装着するときは、ユニット下部の凹部をベースユニットのガイドに挿入し、ガイドの先端を支点として、ユニット上部のフックが「カチッ」と音がするまで押してください。ユニットが正しく装着されていないと、誤動作、故障または落下の原因になります。
- 振動の多い環境で使用する場合は、ユニットをネジで締付けてください。
- ネジの締付けは、規定トルク範囲でおこなってください。ネジの締付けがゆるいと、落下、短絡または誤動作の原因になります。ネジを締め過ぎると、ネジやユニットの破損による落下、短絡または誤動作の原因になります。
- ユニットの導電部分や電子部品に直接触らないでください。ユニットの故障や誤動作の原因になります。
- センサ接続用コネクタは、ユニットのコネクタに確実に装着し、しっかり固定されていることを確認してください。正しく装着されていないと接触不良になり、誤入力、誤出力の原因になります。



【配線上の注意事項】

警告

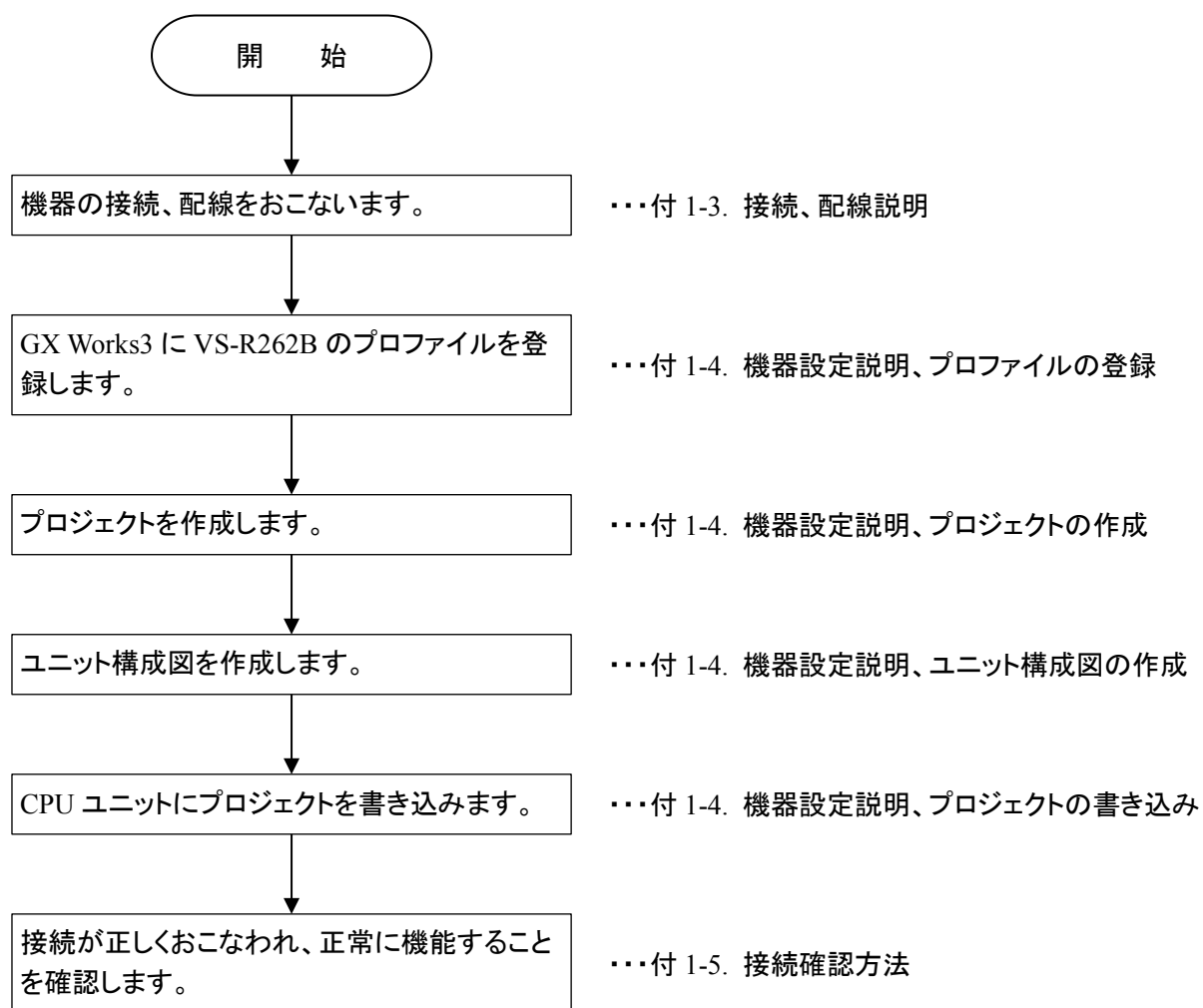
- 取付けまたは配線作業は、必ずシステムで使用している外部供給電源を全相遮断してからおこなってください。全相遮断しないと、感電、ユニットの故障や誤動作の原因になります。

注意

- ユニット内に、切粉や配線クズなどの異物が入らないように注意してください。火災、故障または誤動作の原因になります。
- 配線時にユニット内へ配線クズなどの異物混入を防止するため、ユニット上部に混入防止ラベルを貼り付けています。配線作業中は、本ラベルをはがさないでください。システム運転時は、放熱のために本ラベルを必ずはがしてください。



付1-2. 接続手順フロー



付1-3. 接続、配線説明

「2-3. システム構成例」を参照し、接続、配線をおこなってください。

付1-4. 機器設定説明

機器設定は GX Works3 を使用しておこないます。

プロファイルの登録

プロファイルはユニットの形式によって異なります。使用するユニットに合ったプロファイルを登録してください。
プロファイルは弊社サイトからダウンロード可能です。(URL: www.nsdcorp.co.jp)

- ①プロジェクトを開いている場合は閉じてください。
- ②[ツール]⇒[プロファイル管理]⇒[登録]を選択してください。
- ③"プロファイル登録"画面でファイルを選択し、[登録]ボタンをクリックしてください。

プロジェクトの作成

- ①[プロジェクト]⇒[新規作成]を選択してください。
- ②"新規作成"画面で各項目を設定し、[OK]ボタンをクリックしてください。

各項目の設定:

項目	設定
シリーズ	RCPU
機種	システム構成に合わせて設定してください。 例では R04 を設定しています。
プログラム言語	ラダー

例:

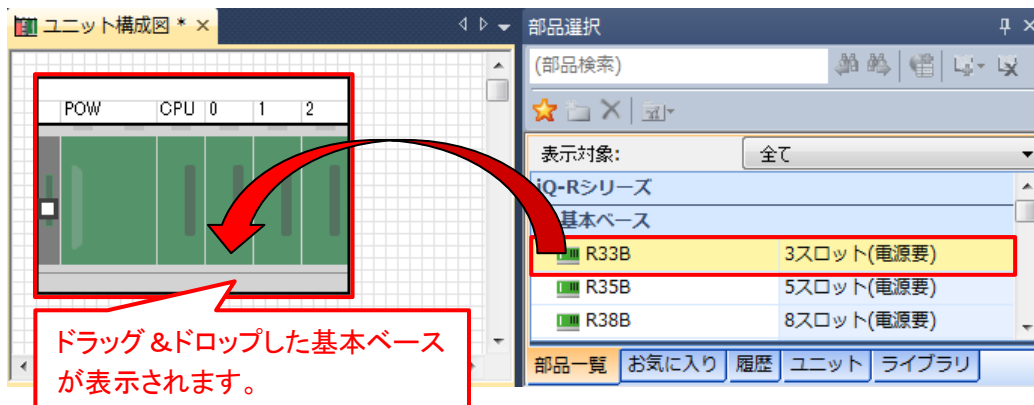


ユニット構成図の作成

①"ナビゲーション"ウィンドウ⇒"ユニット構成図"をダブルクリックしてください。

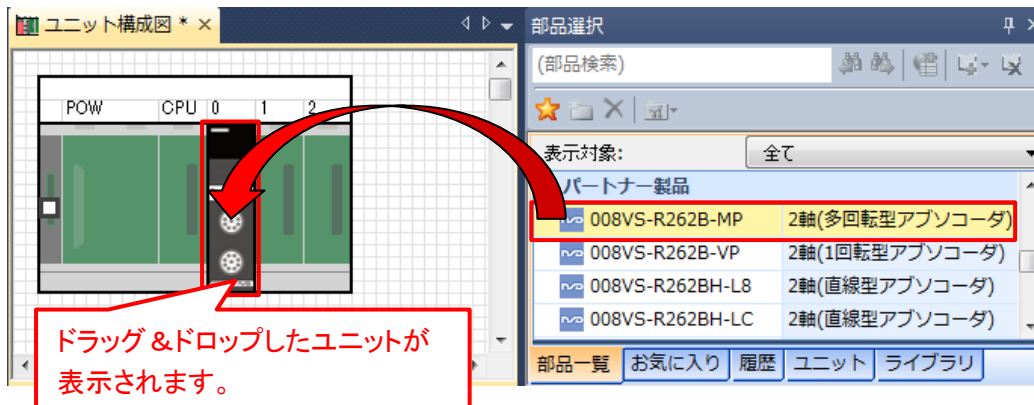
②"部品選択"ウィンドウから基本ベースを選択し、"ユニット構成図"ウィンドウ上にドラッグ&ドロップしてください。
基本ベースはシステム構成に合わせて選択してください。例では R33B を選択しています。

例：



③"部品選択"ウィンドウから"008VS-R262B□"を選択し、手順②で配置したベースユニット上にドラッグ&ドロップしてください。
"008VS-R262B□"の□部はユニットの形式によって異なります。使用するユニットに合ったものを選択してください。
例では"008VS-R262B-MP"を選択しています。

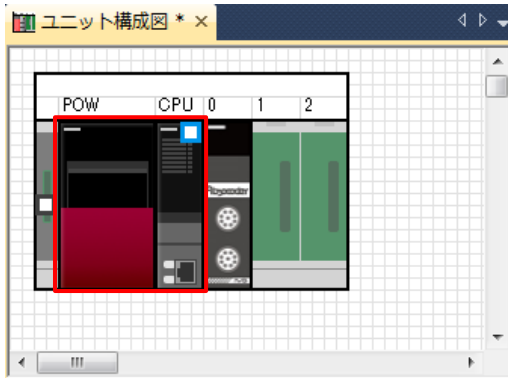
例：



④同様に必要なユニットをベースユニット上に配置してください。

ユニットはシステム構成に合わせて配置してください。例では R61P と R04CPU を配置しています。

例：



⑤"ユニット構成図"ウィンドウで VS-R262B を選択し、"構成詳細情報入力"ウィンドウで先頭 XY を設定してください。

先頭 XY はシステム構成に合わせて設定してください。例では 0000 を設定しています。

ここで設定した先頭 XY を各 FB の i_uStartIONo(先頭 I/O No.)に指定します。例えば先頭 XY が 0000 の場合、i_uStartIONo(先頭 I/O No.)に H0 を指定します。

例：



⑥[編集]⇒[パラメータ]⇒[確定]を選択してください。

プロジェクトの書き込み

①[オンライン]⇒[シーケンサへの書き込み]を選択してください。

②[パラメータ+プログラム]ボタンをクリックしてください。

③[実行]ボタンをクリックしてください。



付1-5. 接続確認方法

接続確認は GX Works3 を使用しておこないます。

- ①[オンライン]⇒[モニタ]⇒[デバイス/バッファメモリ一括モニタ]を選択してください。
- ②"デバイス/バッファメモリ一括モニタ"ウィンドウで各項目を設定し、[モニタ開始]ボタンをクリックしてください。

各項目の設定：

項目	設定
デバイス名／バッファメモリ	バッファメモリ
ユニット先頭	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で入力します。例では 0 を入力しています。
アドレス	0

例：

☐ デバイス名(N)

☒ バッファメモリ(M)

ユニット先頭(U)

0

(16進)

アドレス(A)

0

10進

詳細条件(L)

▼

モニタ停止中

モニタ開始(S)

- ③アブソコーダ検出器を回転または移動させ、バッファメモリのアドレス 0, 1(1 軸 センサ値)が変化することを確認してください。バッファメモリのアドレス 0, 1(1 軸 センサ値)が変化する範囲はユニットの形式によって異なります。

バッファメモリのアドレス 0, 1(1 軸 センサ値)が変化する範囲：

ユニットの形式	変化する範囲
VS-R262B-MP, VS-R262BH-M2R	0～131071(H0～H1FFFF)
VS-R262B-VP, VS-R262BH-V1R	0～8191(H0～H1FFF)
VS-R262BH-LC, VS-R262BH-L8	

例：

☐ デバイス名(N)

☒ バッファメモリ(M)

ユニット先頭(U)

0

(16進)

アドレス(A)

0

10進

詳細条件(L)

▼

モニタ中

モニタ停止(S)

デバイス名	F	E	D	C	B	A	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0	現在値	文字列
U0#G0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	1	0	0	1	0	1234	x.
U0#G1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	..

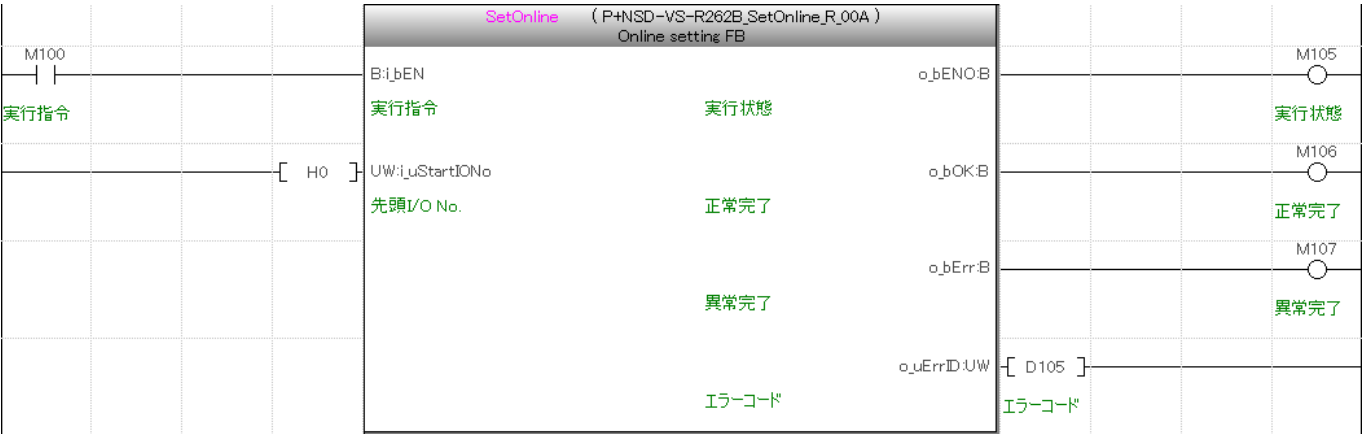
アドレス	バッファメモリの内容
0	(L) 1 軸 センサ値
1	(H)
2	(L) 1 軸 CW 増加現在値
3	(H)
4	(L) 1 軸 CCW 増加現在値
5	(H)
.	
.	
.	

付録2. FB ライブラリ使用例

付2-1. P+NSD-VS-R262B_SetOnline_R(オンライン設定)

VS-R262B の動作状態をオンラインに切り替えるプログラムの例を示します。

プログラム



デバイス使用一覧

■入力

デバイス	用途
M100	実行指令

■出力

デバイス	用途
M105	実行状態
M106	正常完了
M107	異常完了
D105	エラーコード

条件

ラベル名称	ラベル	設定値	説明
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	H0	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 例では H0(0000)を指定しています。

動作

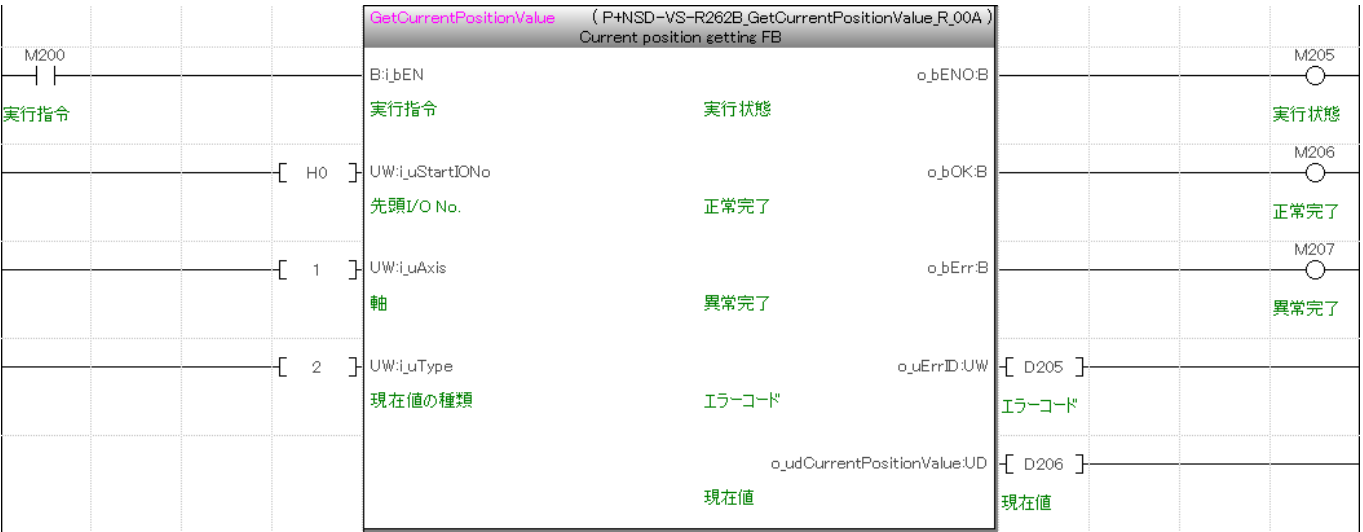
M100(実行指令)を ON すると VS-R262B の動作状態がオンラインになります。
M100(実行指令)を OFF すると VS-R262B の動作状態がオフラインになります。



付2-2. P+NSD-VS-R262B_GetCurrentPositionValue_R(現在値取得)

現在値を取得するプログラムの例を示します。

プログラム



デバイス使用一覧

■入力

デバイス	用途
M200	実行指令

■出力

デバイス	用途
M205	実行状態
M206	正常完了
M207	異常完了
D205	エラーコード
D206	現在値

条件

ラベル名称	ラベル	設定値	説明
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	H0	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 例では H0(0000)を指定しています。
軸	i_uAxis	1	現在値を読み出す軸を指定します。 例では 1(1 軸)を指定しています。
現在値の種類	i_uType	2	読み出す現在値の種類を指定します。 例では 2(CW 増加現在値)を指定しています。

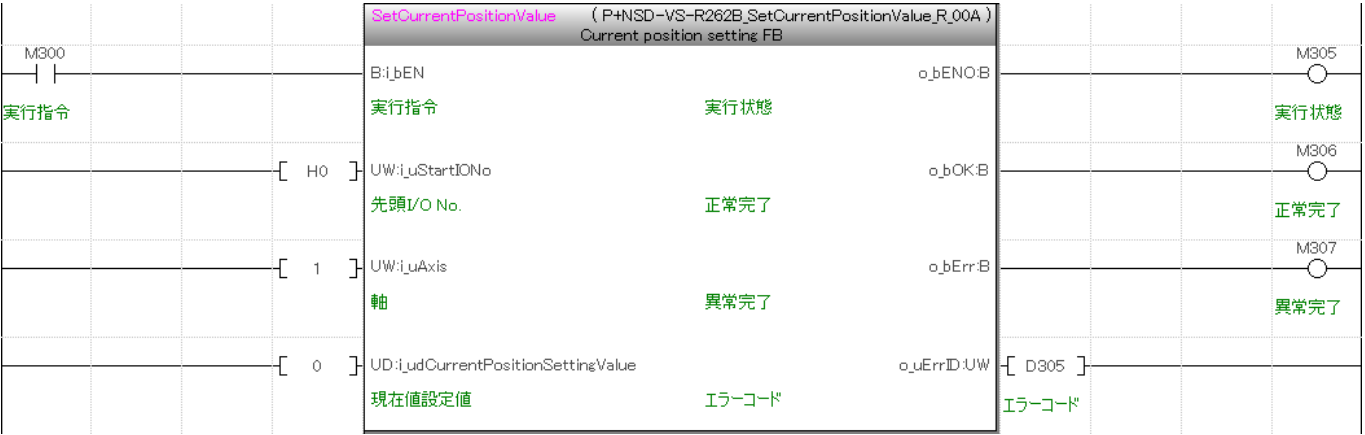
動作

M200(実行指令)を ON すると 1 軸の CW 増加現在値が D206(現在値)に格納されます。

付2-3. P+NSD-VS-R262B_SetCurrentPositionValue_R(現在値設定)

現在値を設定するプログラムの例を示します。

プログラム



デバイス使用一覧

■入力

デバイス	用途
M300	実行指令

■出力

デバイス	用途
M305	実行状態
M306	正常完了
M307	異常完了
D305	エラーコード

条件

ラベル名称	ラベル	設定値	説明
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	H0	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 例では H0(0000)を指定しています。
軸	i_uAxis	1	現在値を設定する軸を指定します。 例では 1(1 軸)を指定しています。
現在値設定値	i_udCurrentPositionSettingValue	0	現在の機械位置に相当する値を指定します。 例では 0 を指定しています。

動作

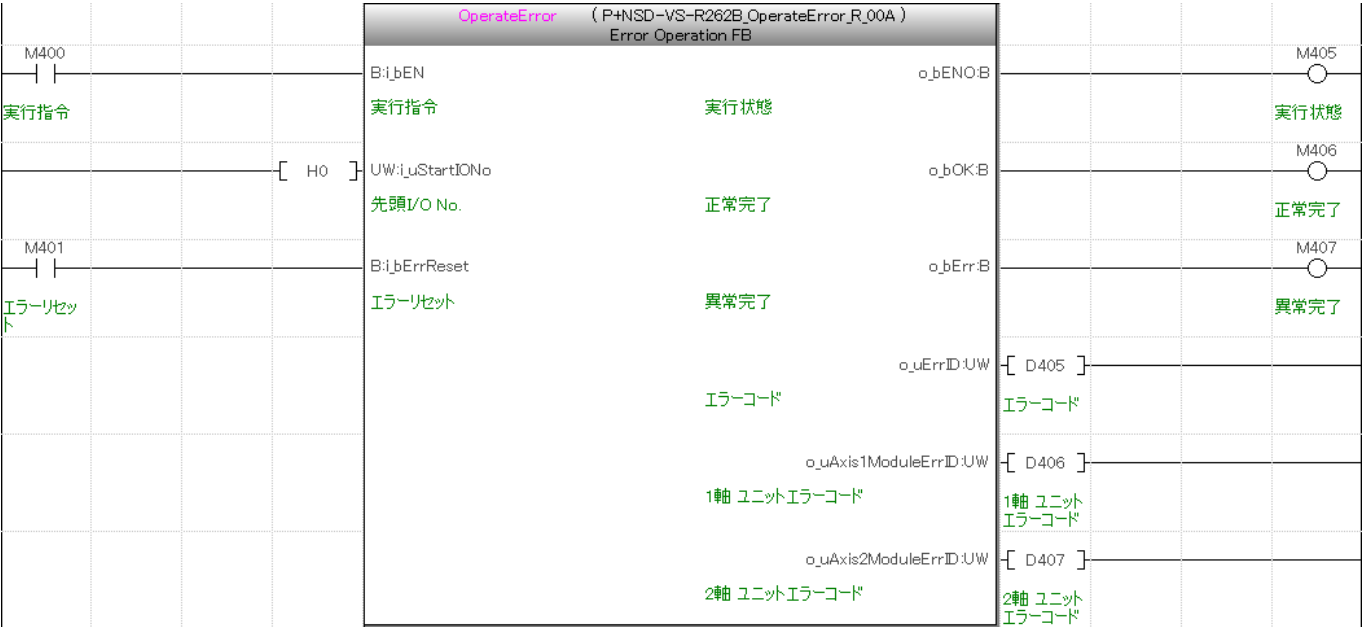
M300(実行指令)を ON すると 1 軸の CW 増加現在値と CCW 増加現在値が 0 に変更されます。



付2-4. P+NSD-VS-R262B_OperateError_R(エラー操作)

VS-R262B のエラーコードを読み出すプログラムの例を示します。

プログラム



デバイス使用一覧

■入力

デバイス	用途
M400	実行指令
M401	エラーリセット

■出力

デバイス	用途
M405	実行状態
M406	正常完了
M407	異常完了
D405	エラーコード
D406	1 軸 ユニットエラーコード
D407	2 軸 ユニットエラーコード

条件

ラベル名称	ラベル	設定値	説明
先頭 I/O No.	i_uStartIONo	H0	VS-R262B の先頭 I/O No.を 16 進数で指定します。 例では H0(0000)を指定しています。



動作

M400(実行指令)を ON すると VS-R262B の 1 軸のエラーコードが D406(1 軸 ユニットエラーコード)に 2 軸のエラーコードが D407(2 軸 ユニットエラーコード)に格納されます。

M401(エラーリセット)を ON すると VS-R262B のエラーがリセットされます。





NSD Group

URL: www.nsdcorp.co.jp

エヌエスディ株式会社

本社	〒460-8302	名古屋市中区大須 3-31-28	
東京営業所	〒185-0021	東京都国分寺市南町 3-25-11	TEL : 042-325-8871
浜松営業所	〒430-7719	浜松市中区板屋町 111-2 浜松アクトタワー19 階	TEL : 053-413-3525
名古屋営業所	〒460-8302	名古屋市中区大須 3-31-28	TEL : 052-261-2331
豊田営業所	〒473-0932	豊田市堤町東住吉 20-1	TEL : 0565-52-3461
大阪営業所	〒530-0001	大阪市北区梅田 3-3-20 明治安田生命 大阪梅田ビル 23 階	TEL : 06-6453-0061
広島営業所	〒732-0053	広島市東区若草町 12-1 アクティブインターシティ広島 オフィス棟 7 階	TEL : 082-568-5077
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-7-24 真藤ビル	TEL : 092-414-4471

グループ会社

エヌエスディ販売株式会社

本社	〒460-8302	名古屋市中区大須 3-31-23	TEL : 052-242-2301
東京営業所	〒185-0021	東京都国分寺市南町 3-25-11	TEL : 042-329-8191
豊田営業所	〒473-0932	豊田市堤町東住吉 20-1	TEL : 0565-51-6040
大阪営業所	〒530-0001	大阪市北区梅田 3-3-20 明治安田生命 大阪梅田ビル 23 階	TEL : 06-6453-0150
福岡営業所	〒812-0006	福岡市博多区上牟田 1-7-24 真藤ビル	TEL : 092-461-7251

お問合せメールアドレス

E-mail: s-info@nsdcorp.co.jp



JQA-EM5904
豊田・篠原工場



JQA-QM4661
豊田・篠原工場

この登録マークは製品またはサービス
そのものを保証するものではありません。

仕様などお断りなく変更することがありますのでご了承ください。

Copyright©2019 NSD Corporation All rights reserved.